

DMG MORI SAILING TEAM

— Vendée Globeへの道 —

皆さま、こんにちは！

「DMG MORI SAILING TEAM」と白石康次郎選手の挑戦をお伝えするメルマガ『DMG MORI SAILING TEAM -Vendée Globe への道-』の第16号です。

いよいよ待ちに待った「Vendée Globe 2020」がスタートしました。

今回は、スタート時の現地の様子やレース展開を中心にお伝えします。



「Vendée Globe 2020」スタート！
白石選手は中団につけてレースを進める！



日本人からは、白石選手におにぎりの差し入れがあり、力をもらいました。

付近住民は自室から声援を送る。海に面した柵には白石選手を応援する「GO・KOJI!」の垂れ幕も。

2020年11月8日、ついに「Vendée Globe 2020」がスタートしました。

Vendée Globeはフランス人にとって国民的行事。毎回、多くの観衆に見守られながら海上のスタート地点へと向かうのが通例ですが、フランスは現在、全国的にロックダウン中で、レースヴィレッジも閉鎖されたため、「Vendée Globe 2020」は無観客での開催となりました。

ただ、そんななかでも、レ・サーブル・ドロンヌの住人は自室から声援を送っていますし、テレビやSNSなどを通じて、スタートの様子は世界に中継されました。また、地元在住の





身にまとう道着の胸には「DMG MORI SAILING TEAM」の“紋”があらわされている。

白石選手は、前回の「Vendée Globe 2016」同様、長年稽古を続けている居合のいで立ちで登場。木刀を腰につけ、道着に身を包み、サムライのような凛々しい姿が印象的でした。



スタート地点まではリポートが並走してサポート。

レ・サーブル・ドロンヌ港から沖合のスタート地点までは、4名のクルーがDMG MORI Global One号に同乗し、他のクルーもリポートで並走しながらサポートします。

現地時間の午前、各選手は沖合のスタート地点に向け、レ・サーブル・ドロンヌ港を出港。白石選手も9時19分にスタート地点へと向かいました。レースヴィレッジ周辺は天候に恵まれましたが、スタート地点の海上に濃い霧が発生して視界が悪くなったため、13時2分に予定されていたスタート時刻も延期となりました。

同乗クルーはレース開始の4分前までに下船するルールとなっていたため、霧が晴れてきたタイミングでリポートに移りました。いよいよここからは白石選手の単独航海。そして、1時間18分遅れの現地時間14時20分、参加33艇がスタートを切りました。



スタート地点に濃霧が発生したため、霧が晴れるのを待ってからスタート。

「Vendée Globe 2020」レース展開

「Vendée Globe 2020」のスタートからの展開をざっと確認しておきましょう。

まずはレース開始からわずか3時間、ファブリス・アメデオ選手(NEWREST - ART & FENÊTRES)がトラブルに見舞われ、いったん港へと引き返しました。Vendée Globeではスタートから10日間は、リペアを行っての再出港が許されているので、こうしたスタート直後のトラブルは帰港するのも戦術として考えられるのです。アメデオ選手はすでに再スタートを切っており、後方からの追い上げを図っています。

レース3日目の11月10日には嵐が発生し、影響を受けるチームが出ました。白石選手が操るDMG MORI Global One号にも小さなトラブルがありましたが、解消できる範囲でした。

嵐の影響で小さなトラブルはあったものの、中国でレースを進める。



一方、苦境に立たされているのが優勝候補の一角と目されていたCharal Sailing Teamのジェレミ・ベユ選手。ベユ選手は、「Vendée Globe 2016」で3位、予選レースの「Vendée-Arctique-Les Sables d'Olonne」では優勝を果たし、万全の態勢で臨んでいましたが、11月11日の強風の影響でフォイルやラダーなど数か所を損傷したため、いったん引き返して損傷箇所を修理する選択をしました。



優勝候補のベユ選手は複数箇所の損傷で600マイル離れたスタート地点へ。

ベユ選手は、11月14日の現地時間午前中にレ・サーブル・ドロンヌ港に到着、すでに修理を終え、17日の現地時間午後にも再スタートを切っています。順位は当然最下位となっていますが、実力者だけにどこまで巻き返せるのかに注目です。

	18 Alan Roura - La Fabrique 20.30UTC • 234 * • 13.4 kts 23 493.6 nm	+86.9 nm
	19 Kojiro Shiraishi - DMG MORI Global One 20.30UTC • 230 * • 5.3 kts 23 526.3 nm	+119.6 nm
	20 Stéphane Le Diraison - Time For Oceans 20.30UTC • 218 * • 13.4 kts 23 529.2 nm	+122.4 nm
	21 Isabelle Joschke - MACSF 20.30UTC • 219 * • 12.9 kts 23 529.8 nm	+123.1 nm
	22 Arnaud Boissières - La Mie Câline - Artisans Artipôle 20.30UTC • 217 * • 13.6 kts 23 546.4 nm	+139.7 nm
	23 Manuel Cousin - Groupe Sétin 20.30UTC • 228 * • 13.0 kts 23 560.5 nm	+153.7 nm
	24 Pip Hare - Medallia 20.30UTC • 226 * • 13.2 kts 23 566.6 nm	+159.9 nm
	25 Didac Costa - One Planet One Ocean	



また、これ以外にも、ケビン・エスコフィエ選手 (PRB) やアルメル・トリポン選手 (L'OCCITANE) がこの嵐の影響を受けて順位を落としました。さらに、11月16日にはニコラ・トルセル選手 (CORUM L'EPARGNE) が棄権しました。マストが折れたことが原因のようです。今回の「Vendée Globe 2020」で初のリタイアとなりました。

スタートからの1週間あまりで上位を争ったのは、「Vendée Globe 2016」で準優勝だったアレックス・トムソン選手 (HUGO BOSS) や、高い人気を誇る最高齢のジャン・ルカム選手 (Yes We Cam !)、レース直前で評価を上げていたトマ・ルイヤン選手 (LINKEDOUT) などです。ベユ選手、トムソン選手、ルカム選手、ルイヤン選手の4人は、本メルマガでも注目選手として紹介したので、名前に見覚えのある読者も多いのではないのでしょうか。



首位争いを演じているHUGO BOSSのトムソン選手は、ベユ選手と並んで優勝候補の一角。

序盤から優勝候補のベユ選手にトラブルが発生するという予想外の展開となりましたが、まだまだレースは始まったばかり。白石選手もトラブルはありながらも中団でレースを進めています。今後もレース詳細などは、このメルマガでお伝えしていきますので、引き続き、日本から白石選手に熱い応援をお願いします。

白石選手の最新情報

11月11日の強風以降の白石選手の状況についてご報告します。

11月14日の現地時間午前10時50分ごろ、DMG MORI Global One 号のメインセールが破損しました。原因は、オートパイロットが作動しなくなり、ワイルドジャイブが発生したためです。

翌15日の現地時間午前8時45分ごろ、風が弱まったタイミングで、修繕のためにメインセールをデッキに降ろし、陸上のショアクルーやセールメーカーとのミーティングを行いながら、破れた部分をシーリング剤で貼り合わせる方法で修復を試みました。

限られた道具・材料での修繕は困難を極めました。11月21日の現地時間午前10時ごろにメインセールの修繕が終わり、併せて破損していた4本のバテンの修理も完了しました。14日に修理を開始してから1週間のタイムロスにはなりませんが、幸い船に穴が開くとかマストが折れるといった致命的な損傷ではありません。白石選手は希望を持って、世界一周への挑戦を続けています。



メインセールを修理するためにデッキに降ろした白石選手。



修繕を完了して再びマストに張られたメインセール。

「Vendée Globe 2020」

トラッキングサイトはコチラ

<https://en.dmgmori.com/company/dmg-mori-sailing-team-jp>



こちらより最新情報をチェック！



@gokojiro_vendeeglobe2020

白石康次郎 Vendée Globe 応援アカウント
ぜひフォローをお願いします！



GOLD SPONSOR



SILVER SPONSOR

GOLDWIN



BRONZE SPONSOR



OFFICIAL SPONSOR



HAIMER



KODEN



医療法人社団 愛友会

上尾中央総合病院

Ageo Central General Hospital